

経営比較分析表／団体全体（令和6年度決算）

福島県 西郷村

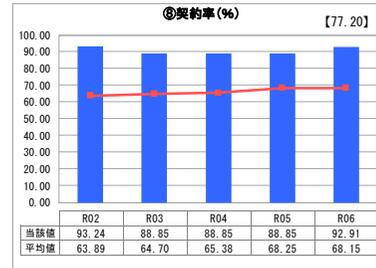
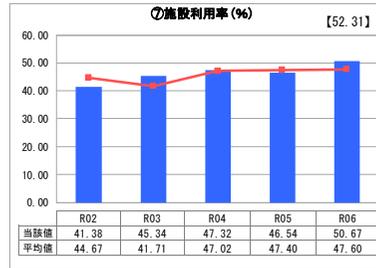
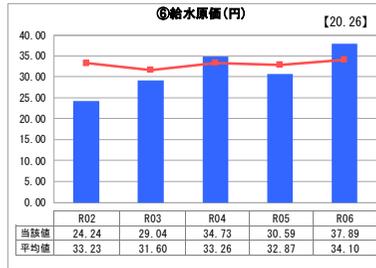
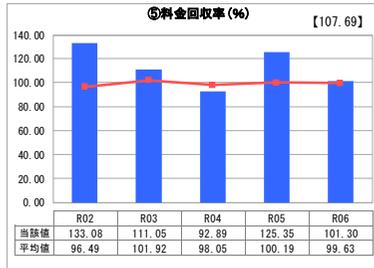
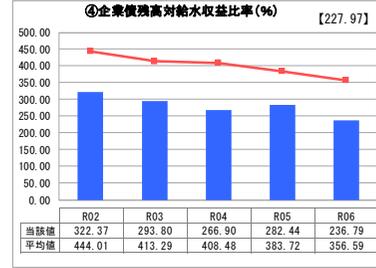
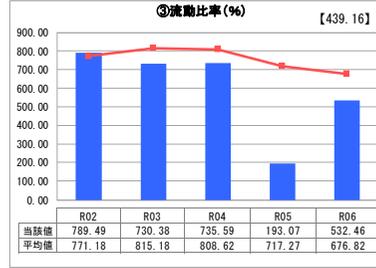
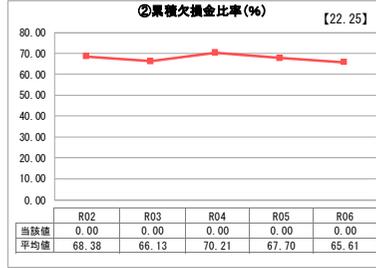
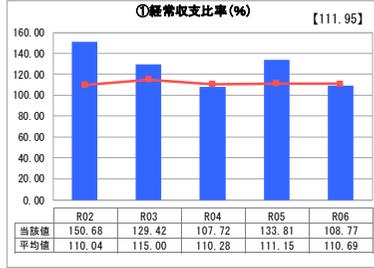
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	29,600	小規模	3	14,999
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	71.4	4	27,500	非設置	

グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

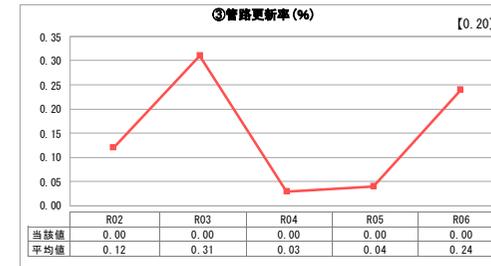
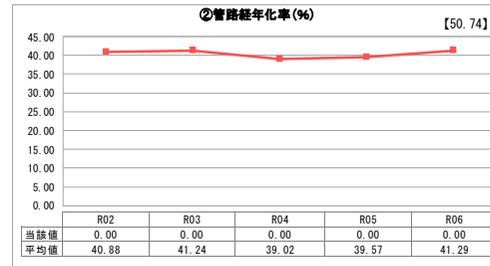
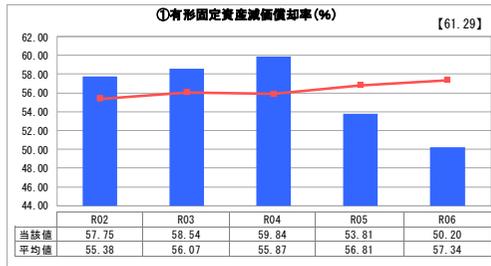
1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率：現在に至るまで100%を超えており黒字経営ではあるが、資産の見直しを行った結果、減価償却費等が増加したため昨年度より数値が下がる結果となった。今後は見直し後の資産により費用引上することとなるため、更なる費用削減や料金水準の見直しや努めていく。
- ② 累積欠損金比率：0%のため、今後も引き続き健全経営に努める。
- ③ 流動比率：流動資産の減少により、数値が下降したが、十分な支払能力を有していると考えられる概ね200%の水準を超えており、短期債務に対する支払能力を有しているといえる。
- ④ 企業債残高対給水収益比率：類似団体と比べて低いが、今後も適正な借入に努めていく。
- ⑤ 料金回収率：①経常収支比率記載のとおり、資産見直しに伴う減価償却費等の増により、昨年度と比べ20%程度減少したが、令和5年度において料金改定を行ったこともあり、100%は超えている。引き続き料金水準の見直しを行い、適正化に努めていく。
- ⑥ 給水原価：昨年度からの上昇理由は、①経常収支比率記載による。類似団体等平均を上回るほか近年上昇傾向にあるため、費用抑制のための見直しを行っていく必要がある。
- ⑦ 施設利用率：近年上昇傾向にあり、今年度は類似団体平均を上回る施設の利用となった。
- ⑧ 契約率：契約水量の増加により数値が上昇した。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率：上記①記載のとおり、資産の見直しにより昨年度より減少している。類似団体や全国平均よりは低いため、他の団体と比べて施設全体の経年化の進みは遅い状況にある。
- ② 管路経年化率・③ 管路更新率：経年管は残存していない状況にあり、今後はアセットマネジメントの結果を基にした計画的な改良、更新を図っていく必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

現状では経営の健全化、効率化については概ね良好であると考えられる。今後もユーザー企業の節水や生産ラインの合理化等、契約水量の減少が見込まれる可能性もあるため、将来の安定的な収入の確保に努めていきたい。

なお、大平工業用水道事業においては令和5年度より料金改定の取組を実施済みであり、他事業も含めて今後も定期的な料金水準の見直しを行っていく。

また、老朽化については、今後も有形固定資産減価償却率の増加が見込まれることから、優先順位や投資規模等を考慮しつつ施設の改良、更新を進め施設の効率性を高めながら将来の運営体制や投資の在り方について検討していく必要があると考える。